

令和6年度

まちづくり推進部 大雄地域局の方針書

局名	まちづくり推進部 大雄地域局
局長名	竹内 勉

1. 局の使命(ありたい姿)

地域の皆さんとの協働による元気で明るく幸せな地域づくりを進めます。

2. 局の抱える課題(現状)

- (1)地域の皆さんから信頼され、満足されるサービスの提供のために、職員一人一人接遇やスキルを向上させる必要があります。
- (2)開設して4年目を迎えた大雄地区交流センターが安定した地域活動が展開できるよう、引き続き支援を進めていく必要があります。
- (3)所管する公共施設、公共温泉施設やインフラ施設を市民の皆さんから快適に利用していただくため、施設の管理(点検・修繕)を的確に行う必要があります。

3. 今年度の『スローガン』

地域の皆さんのために！地域の皆さんとともに！

4. 今年度の方針

- (1)地域の皆さんから信頼され、満足されるサービスを提供します。
- (2)地域の皆さんとの協働により、安定した地区交流センター運営を進めていきます。
- (3)所管公共施設、公共温泉施設およびインフラ施設の適切な維持管理を行います。

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	地域の皆さんから信頼され、満足されるサービスの提供
	取組内容	①お客様に対し、積極的に「あいさつ」「声掛け」を行い、満足していただける窓口サービスを展開します。 ②職員一人ひとりが研修受講等自己研鑽に努め、スキルアップを図ります。 ③課内、係内職員同士協力しながら、業務のダブルチェックを励行し、ミスのない業務執行を行います。
(2)	実現したい成果	地域の皆さんとの協働による、安定した地区交流センター運営
	取組内容	①地区交流センターが地域活動を活発に展開できるよう事業協力、活動支援を継続していきます。 ②4つの部会がそれぞれ計画した事業について、スムーズに進めていくことができるよう、また、部会間連携の橋渡し役としてサポートします。 ③地区交流センターについて地域の皆様に広く周知し、地域主体で取り組んでいけるようサポートします。
(3)	実現したい成果	所管公共施設、公共温泉施設およびインフラ施設の適切な維持管理
	取組内容	①所管する公共施設、インフラ施設の点検、修繕を的確に実施し、安全安心な利用環境を提供します。 ②施設利用者の声や住民ニーズの把握に取り組みながら、今後の施設の再配置を検討し、大雄版FM計画に反映させます。それらに関係部署と協議しながら横手市FM計画のローリング時に提案していきます。 ③ゆとりおん大雄は老朽化が進んでいることから、こまめな設備の点検、修繕を徹底し、お客様の安全を確保します。また、レポートにつながるよう丁寧な対応に心がけるなどサービスの向上に努めます。

6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

- (1) 市民から信頼され、満足されるサービスの提供
 - ・職員全員がすべてのお客様に対し、地域局窓口らしきである明るい対応をしております。また積極的に「あいさつ」「声掛け」を行い、相手の立場に立った対応を行っております。
- (2) 地域の皆さんとの協働による、安定した地区交流センター運営
 - ・設立4年目となり、運営協議会の4つの部会(①地域づくり部会②人づくり部会③スポーツ・文化部会④子ども部会)が連携するよう橋渡しとなり、自主的な活動が展開できるよう活動支援を行っています。センターのPRや活動内容を地域の皆様に広く知っていただくため、月1回の地区交流センターだよりを発行しています。
- (3) 所管公共施設、公共温泉施設およびインフラ施設の適切な維持管理
 - ・所管施設について、破損箇所を限りある予算の範囲内で早期修繕に取り組みました。また、道路については定期的に道路パトロールを実施し、道路穴ぼこや付属施設の修繕を迅速に行い、地域内外の皆様の「あたりまえ」に対応しています。
 - ・ゆとりおん大雄は売上増となるようサービスの向上に努めてきました。今年度温泉部門、料飲部門とも昨年同期8月末の売上を上回っています。ただ、民間譲渡の公募はありませんでした。
 - ・農業者トレーニングセンターは令和7年度で供用を終了するため、まずは地域のスポーツ推進委員、スポーツ奨励員に状況を説明しました。コミュニティ交流センター体育館は令和7年度以降の必要な修繕費を算定しています。

7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

- (1) 市民から信頼され、満足されるサービスの提供
 - ・地域の皆さんの「駆け込み寺」であり続けるよう、引き続き来庁されたお客様に対し、あいさつ、声掛け、丁寧な案内・説明を心がけ、更なるサービス向上につなげます。
- (2) 地域住民との協働による、安定した地区交流センター運営
 - ・地区交流センターのスムーズな運営のため、地域づくり活動や地域の自主的な活動、地域課題の解決に向けた活動など幅広い活動展開をサポートしていきます。
- (3) 所管公共施設及び公共温泉施設の適切な維持管理の実施
 - ・施設や道路等の緊急性の高い箇所を優先的に修繕し、利用者の安全安心を確保していきます。また維持、長寿命化など施設全体の将来計画を見直し、大雄版FM計画を随時修正しながら市の再配置方針に反映するよう関係課所との協議を進めます。
 - ・民間譲渡が叶わなかったゆとりおん大雄について、運営終了までは利用者の方に満足していただけるようこれまで同様サービスの向上につとめていきます。
 - ・農業者トレーニングセンターの終了を見据え、令和7年度はコミュニティ交流センター体育館の照明、床、トイレ等の改修を予定しており、地域の皆様、利用者の皆様への周知、調整を令和6年度中に行います。新体育施設についても住民を交えた検討委員会を設置して建設候補地等の選定を進めていきます。

8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

- (1) 市民から信頼され、満足されるサービスの提供
 - ・各課内職員一丸となって来庁されたお客様に対し、あいさつ、声掛け、丁寧な案内・説明を心がけてきました。対応が良かった、満足したなど感謝の声を複数いただいています。今後とも更なるサービス向上に努めていきます。
- (2) 地域住民との協働による、安定した地区交流センター運営
 - ・引き続き自主運営組織に対して徐々に自主活動を展開できるよう活動支援を行っています。4つの部会が連携するよう橋渡しとなり、活動状況や今後の活動計画等についての会議へ積極的に参加しています。おおむね事業計画に沿って各部会事業(生涯学習奨励員の協力による各種学習・サークル活動、グラウンドゴルフ大会、4人制バレーボール大会、郷土学習講座、地域づくりセミナー、防災セミナーなど)を実施しています。またセンターのPRや活動内容を地域の皆様に広く知っていただくため、月1回の地区交流センターだよりを発行しています。今後も地域局、地区交流センター、田根森・阿気両地区会議、地域住民が互いに協力しながら地域活性化、地域課題の解決につながる事業を進めていきます。
- (3) 所管公共施設及び公共温泉施設の適切な維持管理の実施
 - ・地域内の各所管施設の修繕を行いながら利用者の皆さんの安全安心を確保してきました。引き続き施設確認や大雄地域FM計画推進会議を実施し、施設全体の再配置等将来計画の変更について関係部署と協議してまいります。ゆとりおん大雄については、今後とも適切な維持管理とサービスの向上に努めてまいります。また、譲渡公募の結果引き受け手がなかったことから、令和7年度末で廃止となります。今後、施設の活用方法や地域活性化につながる事業について地域住民の声をいただきながら検討していきます。令和8年度から農業者トレーニングセンターとの統合により新体育館建設までの間運営を続けるコミュニティ交流センターの改修工事を令和7年度に実施します。また新体育施設について住民を交えた検討委員会を設置し、建設規模の検討や候補地の選定を進めていきます。